

# 令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

## ワークショップ実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	有限会社総合劇集団俳優館
公演団体名	総合劇集団俳優館

内容
<p>主指導者と補助者が学校に赴き、児童生徒に以下のような体験をしてもらいます。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 「あらしのよるに」の持つテーマや簡単なあらすじの説明。作品の魅力を周知し、公演に関心と興味を持ってもらうことを意図しています。</li><li>2. ミュージカル体験講座。歌とダンスとお芝居の融合がミュージカルの基本要素であることを実技指導します。歌と簡単な振付の練習に加え、セリフも加えて一場面を実技体験してもらいます。</li><li>3. 共演指導。本公演で児童生徒が参加する場面を、共演者とともに練習します。</li></ol> <p>※公演当日の共演が難しい学校は、3のプログラムを削り、1と2の内容をより深く体験してもらいます。学校のコロナ対策の状況を踏まえ、受け入れ態勢を事前にヒアリングし、どのような内容を実施するか検討します。</p> <p>※事前にワークショップに赴くことが難しい学校は、オンラインや事前に送付するDVDで、できる限り以上のような体験が行えるようにします。</p>

タイムスケジュール（標準）
<p>指導は1クラス単位で行う。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 団体紹介、「あらしのよるに」の説明（5分）</li><li>② ミュージカル体験講座・共演指導（85分、休憩含む）</li></ol> <p>全90分×2クラス程度</p>

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
主指導者 1名
補助者 3名
計 4名

学校における事前指導
<p>事前に児童生徒が参加する劇中歌の楽譜をこちらからお送りし、当日鑑賞する児童生徒が歌えるように指導していただきます。</p> <p>可能であれば、ワークショップ後～公演当日までの間、共演する一部児童生徒を対象に、ワークショップでお伝えした共演部分の練習をして頂きます。</p> <p>※公演当日客席での児童生徒による合唱が難しい学校・一部児童生徒による共演が難しい学校についてはこの限りではありません。</p>

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	有限会社総合劇集団俳優館
公演団体名	総合劇集団俳優館

演目

ミュージカル「あらしのよるに」  
原作：きむらゆういち「あらしのよるに」（講談社刊）  
脚本：三樹健  
作曲：ノノヤママナコ  
演出・振付：ほりみか

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください

出演者 8名  
スタッフ 5名  
計 13名

タイムスケジュール（標準）

8：00 入館・仕込み  
11：30 共演する児童生徒とのリハーサル（45分）  
※共演無しの場合、多少時間を調整することもあります。  
13：50 開演  
15：00 終演  
17：00 退館

実施校への協力依頼人員

（学校が必要と判断した場合）当日開演前・終演後の司会1人

## 演目解説

きむらゆういち作「あらしのよるに」を原作にミュージカルに舞台化。

ヤギとオオカミがともに生きるという、弱肉強食の動物の世界ではありえないような友情、勇気、思いやりが物語られている。

あらしの夜、真っ暗な小屋の中で出会ったオオカミのガブとヤギのメイ。顔も見えず相手が誰なのかわからない。ところが妙に気が合ってピクニックに行こうなどと約束する。それを知った森じゅうの動物たちは大騒ぎ。会ったとたん ヤギはオオカミにパクッと食べられてしまうぞ！しかしオオカミはヤギを食べなかった。それどころか、違っていても一緒にいると何となくホッとする大切な友だちだと思いはじめる。が、群れからは許されず追われた2匹は、互いの友情のため、生きるために吹雪の山を越え新しい天地を目指す。

「あらしのよるに」には異なる者同士が違いを乗り越えともに生きるという共生のテーマを内包している。日本人の心底には外国崇拜の反面、同一民族性というか異人種に対する偏見、排外思想が潜んでいる。この劇を通じて、子どもたちが、いじめの底にある異なる者を敵視したり排除しようとするゆがみの正体を知り、勇気をもって友情を育み、融和と共生の心、多様性の認識が大切であることを考えてほしい。

## 児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

・児童生徒に、劇中で「♪気の合う友だち」を客席から合唱してもらいます。

※公演当日客席での児童生徒による合唱が難しい学校・一部児童生徒による共演が難しい学校については実施しません。

・さらに一部児童生徒には、終幕近くで記憶をなくしたオオカミのガブがヤギのメイを思い出すシーンにも出演してもらいます。そのまま終幕の曲「♪気の合う友だち」を舞台上で俳優と共に歌ってもらいます。

※舞台上での共演が難しい学校については実施しません。

## 児童生徒とのふれあい

・児童生徒が会場に入る際、俳優たちが衣装を着けて待機し挨拶の声などをかけあいながら、客席に誘導します。出演者との交流一体感を準備します。

・終演後は、一部の児童生徒を対象に、バックステージツアーを行い児童生徒の質問に答えながら舞台の裏側を見てもらいます。

※俳優による客席誘導・バックステージツアーが難しい学校については実施ませんが、学校が可能であれば、出演者は終演後の児童生徒退場時、マスクを着けてステージエリアから手を振るなどのお見送りをします。